

75 歳 80 歳アンケートから見える高齢者のフレイルの状況（第2報）

○相馬都¹，増子有紀¹，渡邊祥子¹，本間早姫¹，菊地夏希¹，成田利恵子¹，柴崎麻実¹，
加藤裕一¹，山下英俊¹，加藤丈夫^{1,2}（1：山形市保健所シンクタンクチーム，2：山形病院）

【背景】近年，高齢者の健康寿命を延ばす上でフレイルの予防が重要とされている．その中でも重要な因子の1つが「社会参加」である．山形市では，75歳と80歳の市民（事業対象者・要支援者・要介護者は除く）を対象に，「市民の心身状態を把握すること」と「介護予防の普及啓発への活用」を目的に，毎年度，独自の自記式アンケートを実施している．第1報（令和3年度のアンケート結果の分析）では，自分の役割を持つこと（以降，「社会参加」とする）がフレイルの予防に強く関連することが分かった．

【目的】新型コロナウイルス感染症流行前後において社会参加に対する要因の違いについて分析し，今後のフレイル対策に役立てることを目的とした．

【対象】対象者は，令和元年度および2年度に実施したアンケート調査に対して21項目全てに回答した75歳および80歳7,326人（回答率82.3%，令和元年度3,636人，令和2年度3,690人）．令和元年度を流行前，令和2年度を流行後とした．

【方法】郵送法による自記式アンケート調査（但し令和元年度の75歳は訪問し聞き取り調査）．アンケート内容は，千葉大学予防医学センターが開発した「要支援・要介護リスク評価尺度」¹⁾に，口腔機能や社会参加に関わる内容を追加した合計21問からなる山形市独自のもの．アンケートの質問項目をクロス集計し，項目同士の関連を統計ソフトR/EZRを用いてロジスティック回帰分析にて解析，統計的有意水準は5%未満とした．

【結果】令和元年度および2年度ともに社会参加に有意差をもって強く影響する項目は外出，会話，睡眠，うつ状態であった（表1）．

表1. 自分の役割を持つこと（社会参加）に影響する因子

	令和元年度		令和2年度	
	オッズ比(95%CI)	P値	オッズ比(95%CI)	P値
バスや電車，車にて1人で外出していますか	2.41(1.25 - 4.63)	0.00836	1.59(1.01 - 2.51)	0.0464
一日1回は誰かと会話をしていますか	4.36(2.2 - 8.63)	2.36E-0.5	4.30(2.77 - 6.66)	7.38E-11
夜は十分な睡眠がとれていますか	2.26(1.36 - 3.75)	0.00161	1.80(1.32 - 2.47)	0.000223
ここ2週間，楽しめていたことが，これまで通りに楽しめていますか（うつ状態）	1.86(1.06 - 3.26)	0.0302	2.33(1.69 - 3.21)	2.19E-07

【考察】新型コロナウイルス感染症流行前後で，社会参加に影響する項目に変化は認めなかった．コロナ禍においても，一人で外出すること，会話をすること，睡眠を十分にとること及び精神状態は社会参加に正の影響を及ぼすと考えられた．同一集団の比較ではない部分に限界はあるが，同レベルの感染症の流行に遭遇した場合であっても適切な感染対策に配慮したうえで社会参加を促すことはフレイル予防のために重要であることが示唆された．

【参考文献】1) 辻 大士，高木 大資，近藤 尚己，近藤 克則：基本チェックリストと健診データを用いた縦断研究に基づく要支援・要介護リスク評価尺度の開発，日本公衆衛生雑誌，2017年64巻5号p. 246-257

▶R 5年度

第 50 回山形県公衆衛生学会発表(フレイル・社会参加に関すること)のまとめ

テーマ	75 歳 80 歳アンケートから見える高齢者のフレイルの状況（第 2 報）
内容	第 2 報では、新型コロナウイルス感染症流行前後において社会参加に対する要因の違いについて分析し、今後のフレイル対策に役立てることを目的に、令和元年度および 2 年度に実施したアンケートの回答者 7,235 人を検証対象とし、令和元年度を流行前、2 年度を流行後としてフレイルの状況や因果関係について分析した。
結果	分析結果から、令和元年度および 2 年度ともに社会参加に強く影響する項目は外出、会話、睡眠、うつ状態であった。 新型コロナウイルス感染症流行前後で、社会参加に影響する項目に変化は認められず、コロナ禍においても、1 人で外出すること、会話をすること、睡眠を十分にとることおよび精神状態は社会参加に正の影響を及ぼすと考えられた。 感染症の流行に遭遇した場合であっても適切な感染対策に配慮したうえで社会参加を促すことはフレイル予防のために重要であることが示唆された。

《分析結果の詳細》

- ・自分の役割を持つこと（社会参加）に影響する因子として、バスや電車、車にて 1 人で外出する、1 日 1 回は誰かと会話する、夜は十分な睡眠がとれている、ここ 2 週間、楽しめていたことが、これまで通りに楽しめている（うつ状態）の項目であることがわかった。